

未来につなぐ，地域の自然素材を生かした E S D

三次市立安田小学校

1 取組の概要

本校では，安田の地域素材を生かした環境教育に視点をおき，E S Dに取り組んでいる。絶滅危惧種に指定されている「ナゴヤダルマガエル」や，希少植物「ユキワリイチゲ」などを児童自らが調べてガイドする活動をはじめ，地域の自然素材を生かした学習を年間を通じて行っている。

これらの学習活動を通して，自然環境と生態系の変化との因果関係や自然と共存する生き方について考えさせながら，地域を愛し，自ら学び，自ら考え，行動できる児童の育成を目指している。



2 本実践事例について

(1) 本事例実施の背景・これまでの取組

本校では自然豊かな環境の特徴を生かし，理科，生活科，総合的な学習の時間を軸にしながら環境学習に長年取り組んでいる。地域の山野草をガイドする「安田子ども自然ガイド」や，ダルマガエルなどの絶滅危惧種がなぜ減ったのか調査・考察を行う科学研究などにより，地域の自然を大切に思う児童のアンケート調査結果の割合は 100%である。さらに，環境保全学習に関連する行事や教科等を学年毎に「安田 E S D カリキュラム」として整理し，多面的・総合的に考え，実行できるよう工夫している。

【主な取組例】

- ①安田子ども自然ガイド（年3回）
- ②クリーン活動（地域ゴミ拾い，駅舎掃除を毎学期）
- ③エコ活動（トレイ回収，節電節水活動を通年）
- ④地域の自然，生き物をテーマにした科学研究
- ⑤川学習（水生生物調査，水質調査）
- ⑥ネイチャーカレンダーの作成
（児童の動植物スケッチ）



(2) 指導のポイント

- ☆ 地域素材をテーマにした科学研究に取り組み，課題設定する力，情報収集する力，情報を整理し表現する力，情報を発信する力を育成することにより，科学的な知識を活用して多面的に考えたり，説明したりする力を育てる。（付けさせたい力1）
- ☆ 身近な自然や日常生活に見られる自然事象について疑問をもち，比較したり，関連づけたり，条件制御したり，推論したりさせ，既習事項を生かして総合的に考える力を育てる。（付けさせたい力1）
- ☆ 少人数を生かした異年齢集団の縦割り班で学習することにより，お互いを思いやり，協力しながら学習し，上学年としての自覚やリーダーシップを育成する。（付けさせたい力2）
- ☆ 安田の自然について広く学習することで，自然環境や生命を尊重し地域を愛する心情を養うとともに，安田の自然環境を未来に残していくために，自分たちにできることや地域でできることを考え，実践したり呼びかけたりする実行力を育てる。（付けさせたい力3）

3 学習計画案

(1) ねらい

安田地域の希少な山野草や絶滅危惧種の動植物について調べ、地域や保護者の方に分かりやすく説明（ガイド）する。

(2) 対象学年 第1学年～第6学年（全13時間）

	学習活動	指導上の留意事項 【重視する能力・態度】
第一次 (4月)	○第1回安田子ども自然ガイド ・全校を縦割り班に分け、6年生をリーダーにガイドまでの計画を立てる。 ・春の植物の特徴や、希少な山野草について調べる。 ・役割分担し、ガイドを行う。 ・ガイドの反省を行い、次回に生かす。	・6年生を中心に、どうすればよいガイドになるか考えさせる。 ・相手意識をもった説明の具体的な姿を考えながら練習させる。 【進んで参加する態度】 【他者と協力する態度】
第二次 (6月)	○第2回安田子ども自然ガイド ・縦割り班で、前回の反省をもとに新たなめあてと計画を立てる。 ・初夏の植物の特徴や、希少な山野草、野鳥、陸貝について調べる。 ・参加者により楽しんでもらうための方策を考える。(パンフレット、クイズなど) ・役割分担し、ガイドを行う。 ・ガイドの反省を行い、次回に生かす。	・前回の反省にもとづき、自己目標を決めて取り組ませる。 ・植物だけでなく、野鳥や生き物、昆虫などに広がるように考えさせる。 【コミュニケーションを行う力】 【つながりを尊重する態度】
第三次 (3月)	○第3回安田子ども自然ガイド ・縦割り班で、前2回の反省をもとに集大成となるガイドにするための計画を立てる。 ・初春の希少植物、絶滅危惧種の山野草について調べ、自分の考えを入れながらガイドする。 ・1年間のガイドの反省を行い、来年度に生かす。	・前回の反省から、さらにレベルアップしたガイドにするにはどうしたらよいか考えさせる。 【未来像を予測して計画を立てる力】 【多面的・総合的に考える力】

4 児童生徒の反応（授業後の感想等）

環境について広く学んだことで、自分からごみを拾ったり、掃除したりすることが自然にできるようになりました。また、動植物のことを調べガイドしたことで、植物や生物をもっと大切にしていこうという考えがもてました。

クリーン活動や科学研究は全てESDでつながっているんだなと思いました。ちょっとしたボランティアやゴミ拾いが、自然を守ることにつながります。これからも、自然を大切にしていきたいです。

年3回の自然ガイドをして、環境や自然について学んできたことから安田にある植物や生物を大切にしていきたいと思う気持ちが強くなりました。これからも、ずっと変わらない安田であってほしいです。

